

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	私立幼稚園補助事業	会計	一般会計	事業No.	139	施策順No.	21-004
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-1-2-10-4		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	子育て支援課		
施策	21 乳幼児教育の充実			事業期間	開始	2	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	私立幼稚園						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		私立幼稚園数	5	5	5	5	5	
	意図	運営に係る経費の負担を軽減する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	運営に係る経費負担が軽減される幼稚園数/私立幼稚園数(%)	100	100	100	100	100	100	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		年休代替職員雇用事業、預り保育事業の実績が減る中、障害児受入事業の実績は前年度と同額。支援を要する児童に職員を加配するため、本事業は有効利用されている。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	私立幼稚園の運営の健全化と幼児教育の振興を図ることを目的とした補助金交付事業。 ①私立幼稚園教育振興費補助金 飯田市私立幼稚園連合会に一括交付する(→連合会が定める基準により各私立幼稚園に配分される)。民間保育所振興補助金との均衡も踏まえ予算措置している。 ②私立幼稚園年休等代替教諭雇用事業補助金 職員が年休取得したとき代替職員を雇用した場合等に必要な人件費に対する補助。職員1人当たり4日(@5,920円)を限度。 ③預かり保育雇用事業補助金 通常保育時間以外の保育(預かり保育)のために職員を雇用した場合に必要な人件費に対する補助。(担当職員1人1ヶ月につき4,000円が上限) ④障害児等受入臨時教諭雇用事業補助金 障害児を受け入れるために職員を雇用した場合に必要な人件費に対する補助。(対象園児1人につき40万円が上限)。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	補助金の交付を行う。 ①私立幼稚園教育振興費の補助 ②職員が年休取得したときの代替職員の雇用人件費の補助。 ③預かり保育を行うために職員を雇用したときに必要な人件費の補助。 ④障害児を受け入れるために職員を雇用したときに必要な人件費の補助。	①振興補助金 ②年休等代替教諭雇用事業補助金 ③預かり保育代替教諭雇用事業補助金 ④障害児受入代替教諭雇用事業補助金	①10,917千円 ②829千円 ③240千円 ④2,000千円
23年度実施計画	補助金の交付を行う。 ①私立幼稚園教育振興費の補助 ②職員が年休取得したときの代替職員の雇用人件費の補助。 ③預かり保育を行うために職員を雇用したときに必要な人件費の補助。 ④障害児を受け入れるために職員を雇用したときに必要な人件費の補助。	①振興補助金 ②年休等代替教諭雇用事業補助金 ③預かり保育代替教諭雇用事業補助金 ④障害児受入代替教諭雇用事業補助金	①11,517千円 ②1,090千円 ③480千円 ④2,000千円

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		14,412	13,986	15,063		
計(A)		14,412	13,986	15,063		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			13,986			

4 事業に対する市民や議会の意見

就労形態の多様化等から、保育所並みの開所日数・開所時間を求める保護者が多くなってきた。平成15年12月定例会において、私立幼稚園に対する援助も保育園に対する支援と同等に行うべきであるという趣旨の議員の質問あり。平成13年12月定例会において、私立幼稚園連合会から、私立幼稚園教育振興補助金の増額、施設設備改善に関する補助、人的環境整備等について配慮願いたいという陳情が提出され、採択されている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	園の体制が整備され、又児童の処遇向上により、乳幼児が発達段階に応じた健全な育ちができる。	施策の成果指標又はムツ指標	就学前までに基本的な生活習慣が身につく集団生活ができる子ども(就学直後)の割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	幼稚園運営に対する県・国による補助制度がない中、市独自の補助制度によって保育所の処遇と均衡を図るよう努めてきた。この補助金の制度によって幼稚園の運営を助け、就園する児童の安定した教育につながると考えられる。		
	後期に向けた課題	年々子どもの人数が減少傾向であり、入園児も減少している。その現象とは反して、支援を要する児童が増えているため、より多くの職員が必要であるが園の運営を考えると採用を躊躇せざるを得ない。そのため補助の拡充を求められている。補助金の拡充も一つの手ではあるが、人材育成プログラムによって教職員の資質向上を助長し、今ある資源を最大限活用できる手立ても検討していきたい。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	4年間の中で園の補助金増額の要望等を踏まえ、各事業の予算を増額し幼稚園への補助を拡充してきた。支援を必要とする児童の増加に対応するため障害児等受入臨時教諭雇用事業補助金を増額した。		
	後期に向けた課題	今後は既存の補助事業に加え、未就園児や地域の方たちとのふれあいを支援する、地域活動事業の取り組みにも補助金を交付するよう検討していく。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	幼稚園の安定した運営を補助する事業であり、削減すべきコストはない。		
	後期に向けた課題	幼稚園の安定した運営を補助する事業であり、削減すべきコストはない。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	受益者の負担を軽減する事業であり、市の関与は適切である。		
	後期に向けた課題	受益者の負担を軽減する事業であり、市の関与は適切である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	事業主体は市であり、幼稚園の運営を補助する役割を持つ。市は理事者と幼稚園連合会の懇談会の場を設け、幼稚園および保護者の意見をうかがい、補助金のあり方を検討してきた。		
	後期に向けた課題	引き続き市が主体となり、幼稚園の意見要望をうかがい、補助金の内容を検討していく必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	幼稚園に入園する児童の多様なニーズに応えるべく、園でも研修参加などによって資質向上に努めている。また、配慮の必要な園児に加配職員をあてる等、環境にも配慮をしていることから、そういった取り組みを支えるため年々補助を拡充してきた。また、補助金のみならず支援系の専門的な職員の巡回相談や、療育センターひまわりとの連携によって現場への直接的な支援も行ってきた。		
	後期に向けた課題	先にも述べたように、飯田市内の児童数は年々減少傾向にある。私立幼稚園の経営は園児の減少によって圧迫されることが危惧されている。市としては限られた財源とさまざまな資源を有効活用し、低コストで高い成果を出せるよう取り組んでいきたい。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------